SUPERBIKE EXPRESS-- EXtra, EXpert and EXtreme

SUPERBIKE EXPRESS 2017 02

JSB1000 All Japan Road Race Championship

QUALIFYING PRACTICE
OFFICIAL REPORT

イニシアチブを握る絶対王者・中須賀克行 ニューマシンを手に入れ勝利を狙う高橋巧 藤田拓也、渡辺一馬、野左根航汰がトップ争いに加われるか!?

全日本ロードレース選手権の最高峰JSB1000クラスは、今年も鈴鹿2&4レースで開幕を迎えた。2017年も200kmのセミ耐久で行われ、7月末に開催される鈴鹿8時間耐久に向けてのトライアウトも兼ねている。速さだけではなく、給油、タイヤ交換を行うピット作業がマストとなり、チームの総合力が問われるレースとなる。また、今シーズンよりタイヤが16.5インチから17インチとなり、各メーカーの開発状況や特性の違いにマシンを合わせ込む作業に追われることになった。さらにHondaは、CBR1000RR SP2を、スズキは、GSX-R1000Rと待望のニューモデルを投入。それぞれ、どこまでマシンを仕上げてくるかが注目された。

今年も事前合同テストはなかったが、メーカーがそれぞれ専有走行を設けテストを行い、レースウイークを迎えていた。

木曜日の特別スポーツ走行から速さを見せたのは、やはり絶対王者・中須賀克行だった。ただ一人、2分05秒台に突入し、セッションをリード。金曜日もS字コーナーで転倒はあったものの連日のトップタイムをマーク。これにニューマシンを駆る高橋巧が肉薄していた。

風はやや強いものの爽やかな青空が広がる中、土曜日の公式予選が行われた。Aグループの走行となった中須賀は、コースイン直後から2分06秒台を連発すると、4周目には2分05秒961をマーク。セッション終盤には、さらにタイムを詰め2分05秒616で堂々のポールポジションを獲得した。

「まだ決して余裕がある状態ではないですね。金曜は転倒していますし、タイヤが17インチになったことで、合わせ込んでいる最中ですから。他のメーカーもニューマシンが出て来て、4メーカーが同じ土俵となったことで、もっといいバトルができると思いますし、そこを勝っていくことに、やり甲斐を感じますよね」と中須賀は、チャンピオンらしいコメント。

2番手にニューマシンを駆る高橋巧が2分06秒119でつけた。「まだまだ仕上がりは、70%というところです。それでもニューマシンになったことで、まだまだノビしろがありますし、もっとよくなったときが楽しみです。決勝は、中須賀さんに、ついて行けるだけついて行くだけです」とコメント。鈴鹿8耐を見据え、Hondaが力を入れているマシンだけに、高橋巧のマシンは、かなりよくなってきているようだ。

そして3番手の藤田拓哉は「いい流れで、ここまで来ています。決勝でもトップ争いに何とかついて行きたいですが、4番手以降も接戦なので、集団となったときに前に出てイニシアチブを握っておきたいですね。今年は、落ち着いて走ることができていますし、決勝もしっかり走り切ることができれば、結果を出せると思っています」と自信をのぞかせた。

Bグループトップには、今シーズン、Kawasaki Team GREEN入りした渡辺一馬が、2分06秒台に入れ4番手につけた。

「予選では、かなり攻めの走りをしました。何とか2分06秒台に入れられてよかったです。カワサキのいい部分を引き出して、一つでも前でゴールできるように全力を尽くします」とカワサキで初めてのレースに臨む。

一方、津田拓也は、金曜に転倒も喫するなど、ニューGSX-Rを仕上げるために"産みの苦しみ"を味わっている。予選中も、思うように走れない中、2分06秒台に入れ5番手となった。

「なかなか思うように行っていないですし、流れはよくないですが、最後まで、もがきたいと思います」とヨシムラの底力を見せたいところだ。

前週にフランスで行われたル・マン24時間耐久で2位に入り、連戦となっている野左根航汰は6番手。ニューマシンをシェイクダウンしたばかりの山口辰也は7番手。ヨシムラに大抜擢された濱原颯道は8番手。今年もスタンダードエンジンのBMWで参戦する酒井大作が9番手。JSB1000ルーキーの渥美心がダンロップ勢最上位の10番手となった。加賀山就臣は、11番手と苦戦中。昨年型ヨシムラマシンで鈴鹿8耐出場を目指す生形秀之が12番手。清成龍一と高橋裕紀が組んで出場するモリワキは、予選で清成が2度転倒するなど、思うようにタイムを出せず13番手グリッドからスタートする。同じく鈴鹿8耐出場を目指す伊藤真一が14番手と続いた。

アベレージでは、中須賀と高橋巧が抜きん出ているだけに、一騎打ちとなる可能性が高いが、35周と長丁場のレース、何が起こるか分からない。200km先のチェッカーフラッグを真っ先に受けるのは、果たして!?

Text : Toshihiro Sato & SUPERBIKE.JP / Photo : H. Wakita & Y.Harada / Issued by SUPERBIKE.JP

JSB1000
All Japan Road Race Championship

QUALIFYING PRACTICE
RESULT & INTERVIEW

ポールポジション：2分05秒616
#1　中須賀 克行　YAMAHA FACTORY RACING TEAM

『結果的にポールポジションを獲ることができてよかったです。現段階では、17インチは、16.5インチを超えていないですし、しっかりとロングランができているわけではないので未知数な部分があります。テスト走行では、区切って走ってレースラップをこなしていますが、コンディションも違いますし、その辺りは、感触を確かめながら走りたいと思っています。高橋巧選手が調子を上げていますし、去年のように勝つことはできないと思いますが、各メーカーが同じ土俵に上がりましたし、いいバトルをしてレースが盛り上がればいいと思います。もちろん勝つために走ります』

予選2番手：2分06秒119
#634　高橋 巧　MuSASHi RT HARC-PRO. Honda

『新型マシンは3月末にシェイクダウンしました。まだまだ煮詰め切れていないというか、色々試して入るのですが、分からないことだらけで、その都度学習している段階です。あまりすっきりとはしない感じですね。5秒台を出したいとは思っていましたが、車体セッティングを思ったように仕上げられなくて、不発に終わりました。決勝前のフリー走行でもう一度トライして、決勝に向けて仕上げたいと思います。ただ、決勝までは時間もないので、最後は自分がマシンに合わせて、何とかチャンピオンに食らいついて行こうと思います』

予選3番手：2分06秒767
#9　藤田 拓哉　YAMALUBE RACING TEAM

『自分としては、まずまず走れていると思っていましたが、トップとの差が結構あったので、そこをどう埋めていくか、また、それ以外にも一つひとつ課題を見つけてそれをどうしていくのか、ということを考えて走っていました。4番手との差もそれほどないので、決勝では接戦になるでしょうから、最後はそこで結果を残せるようにしたいと思います。以前よりは焦らず、タイム的にも上がってきていますので、日曜朝のフリー走行をうまく使って、決勝では少しでもトップに付いて行けるようにしたいと思います』

2017年年間登録ライダー集合写真

公式予選結果

●予選：天候／晴　路面／ドライ　出走67台
●決勝レース スタート／10:15（200km/35周）

Pos	No.	Team	Rider 1	Rider2	Best Time
1	1	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	中須賀 克行		2'05.616
2	634	MuSASHi RT HARC-PRO. Honda	高橋 巧		2'06.119
3	9	YAMALUBE RACING TEAM	藤田 拓哉		2'06.767
4	23	Kawasaki Team GREEN	渡辺 一馬		2'06.817
5	12	ヨシムラスズキMOTUL	津田 拓也		2'06.936
6	5	YAMAHA FACTORY RACING TEAM #5	野左根 航汰		2'07.009
7	104	Honda Dream Racing	山口 辰也		2'07.834
8	50	ヨシムラスズキMOTUL	濱原 颯道		2'08.105
9	39	BMW Motorrad39	酒井 大作		2'08.475
10	080	UQ & テルル・Kohara RT	渥美 心		2'08.667
11	71	Team KAGAYAMA	加賀山 就臣		2'08.702
12	95	エスパルスドリームレーシング	生形 秀之		2'08.829
13	72	MORIWAKI MOTUL RACING	高橋 裕紀	清成 龍一	2'08.912
14	79	Team SuP Dream Honda	伊藤 真一		2'09.100
15	18	GBSレーシング YAMAHA	近藤 湧也		2'09.878
16	57	Honda 鈴鹿レーシングチーム	日浦 大治朗	安田 毅史	2'10.189
17	85	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	中冨 伸一		2'10.257
18	090	au & テルル・Kohara RT	秋吉 耕佑		2'10.317
19	70	SatuHATI.Honda Team Asia	Md.Z Zaidi	R Wilairot	2'10.519
20	60	チタニウムパワー フーターズ レーシング	津田 一磨		2'10.585
21	13	オートテクニックスポーツPGR	関口 太郎		2'10.924
22	47	Webike チームノリックヤマハ	上和田 拓海		2'11.304
23	46	Kawasaki Team GREEN	松﨑 克哉		2'11.432
24	20	Motorrad Rennsport	寺本 幸司		2'11.481
25	16	TONE RT SYNCEDGE 4413	児玉 勇太	武石 伸也	2'11.530
26	34	KRP三陽工業&RS-ITOH	岡村 光矩	M Aitchison	2'11.633
27	55	TEAM VITAL SPIRIT	佐野 優人	辻本 範行	2'11.645
28	74	AKENO SPEED・YAMAHA	稲垣 誠	南本 宗一郎	2'11.822
29	502	NCXX RACING	長尾 健吾	吉田 忠幸	2'11.843
30	61	Team de"LIGHT	奥田 貴哉	森 繁生	2'11.872
31	83	RS-ITOH	石塚 健	柴田 陸樹	2'11.935
32	78	TTS速心NCCFACTORY	中村 敬司		2'12.052
33	94	Team KAGAYAMA	浦本 修充		2'12.432
34	28	Honda熊本レーシング	吉田 光弘	岩田 悟	2'12.832
35	42	Honda EG Racing	中村 知雅		2'13.008
36	84	テイクアップOIRF	田村 武士		2'13.243
37	40	大阪Mobius icuRT99&OUTRUN	中本 翔	吉田 和憲	2'13.280
38	22	RSG RACING&スクールファミリー	片平 亮輔		2'13.514
39	807	ホンダドリーム北九州&Life 01	西中 綱		2'13.677
40	43	チームスガイレーシングジャパン	須貝 義行		2'13.878
41	38	O-TECsuzuka RSGracing	筒井 伸		2'13.960
42	66	浜松チームタイタン	犬木 翼		2'13.977
43	77	チーム阪神ライディングスクール	西嶋 修		2'13.987
44	41	H.L.O RACING	樋口 耕太		2'14.045
45	52	Honda浜友会浜松エスカルゴ	野寄 真二		2'14.099
46	51	Honda ブルーヘルメットMSC 熊本	森 健祐		2'14.182
47	59	HKC&IMT Racing	岸田 尊陽		2'14.279
48	75	トランスマップレーシングチーム長野withACECAFE	櫻山 茂昇		2'14.306
49	48	立秋モータース&RC甲子園YAMAHA	池田 貴彦		2'14.768
50	58	チーム・エッチングファクトリー	慶楽 大樹	有川 浩太郎	2'14.892
51	56	磐田レーシングファミリーwithYMC	上野 友寛		2'14.914
52	54	磐田レーシングファミリー	宮腰 武		2'15.146
以上予選通過車両:					
53	76	DOG HOUSE	岩谷 圭太	向山 将弘	2'15.176
54	69	山科カワサキ&ビジネスラリアート&YIC京都	松本 正幸		2'15.236
55	53	浜松チームタイタン	武田 数馬		2'15.542
56	91	Honda緑陽会熊本レーシング	井上 拓海	北折 淳	2'15.586
57	112	Honda EG Racing #112	本田 恵一		2'15.926
58	86	プラスワン MCRT	今津 比呂志		2'16.211
59	82	磐田レーシングファミリー&YMC	佐藤 龍彦		2'16.322
60	903	ノイズレーシングチーム	中井 恒和		2'16.942
61	36	KTM CSスタンス 北海道サベダー	宇都 敏明	高田 昌明	2'17.285
62	73	R.C.のりもの	三浦 和男	坂本 勉	2'17.317
63	68	Honda ブルーヘルメットMSC	鹿内 新平	大塚 卓也	2'17.845
64	49	RS-ガレージハラダ姫路	原田 洋孝	中山 智博	2'18.475
65	90	SUZUKA R&D	隣 淳二		2'18.873
66	64	T・モトキッズ	福山 京太	樋口 幸博	2'18.954
	450	TT45	相馬 利胤	谷 誠士郎	

予選通過基準タイム（ Gr.A 110 % ） 2'18.784　（ Gr.B 110 % ） 2'19.915
下線のライダーは予選通過基準タイム不足

INFORMATION

RIDE & DRIVE
全てのモータースポーツファンに向けてレースをお届けします！

全日本ロードレース全戦が無料BS放送のBS12（番組名「RIDE&DRIVE」で放送されます！ 放送時間はレース6日後の土曜日、27:00〜27:54
★詳しい放映スケジュール等はファンサイトで！

■全日本ロードレース選手権第1戦 in 筑波+JP250 放映スケジュール
4月29日（土）　27:00〜27:54

BS12 TwellV

インターネットライブ中継&動画配信も充実!!
MFJ Live CHANNEL
サーキットの場内監視（ポスト）映像に外部カメラ映像をプラスし、「MFJライブチャンネル」にて配信。
中継配信がより充実しました。※通信環境によりディレイ配信となる場合もあります

YouTube　YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信！

詳しくはファンサイトで → http://superbike.jp/